

めだかの学校だより

令和7年8月1日
第128号
学舎：周智郡森町
「一宮総合センター」
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一二八回 校長 今村 純子

生活改良普及員の活動を振り返って
『昭和20年 食生活指針静岡県発行
が示唆するもの』

昭和55年12月、明治42年生まれの亡父の書棚を整理していたら、更紙の赤茶けた粗末な冊子の『昭和20年8月 食生活指針 静岡県』を見つけた。父は昭和20年当時、村の青年学校で軍服を着て、在宅青年の軍事教練等をしていたので、戦後の現場での食糧づくりもしていた。農林水産業は無くてはならないもの、人々が元気に生きていくためにかかせない。人々の地域で先代が大切に残してきた教えを守り、そこにしかない「太陽・土・水」から作物を栽培し、世のすべ手の人々の大切な命を守る。人々の生活も食生活の基礎を確保して、一粒の米麦等、主食を大切にして、代用食、粉食等にも創意工夫してほしいと、指針では

教えていた。先人たちは混乱の中で貴い仕事をしている。この指針は、「敗戦を生き抜いた知恵」という副題がつけられて農文協の人間選書シリーズの1冊として平成14年に復刻版が出版された。昭和16年から20年にかけて、日本は太平洋戦争で苦難の道を歩んだ。全国すべての方々の生き場を襲った出来事は、戦争だから仕方がないと言うでしようが、今後の若い方々に伝えておきたい出来事であった。あの頃の暮らしの大変化を体験している方々も少なくなっているが、当時を思つて、若い後継者を育ててほしいと思う。

両親とも教師で5人兄弟の長女として、戦中戦後の掛川小原子の農村で育ってきた私は、昭和32年、県職員となり「生活改良普及員」の仕事をしてきた。昭和30年代は、「食糧増産」と共に「バランスの良い食料改善」を。昭和40年代は、「新しい農業経営の中で生活環境改善」を。昭和50年代は、「農産物の自

給向上とその加工品開発」を。昭和60年代になつて、「女性の能力開発」と「農山村地域の見直し」や、「都市と農村の交流」等々の時代に対応した活動をしてきたことは、やりがいがあつた。

高度経済成長の時代にあおられて消費は美德などといわれてきた中で、人々の堅実に生活する基礎は、やはり健全な家庭と地域にあることを、今改めて実感している。食料自給率36%を聞く昨今、大丈夫かなと不安を感じるのは私だけではないと思う。

大切な農林水産業は人々が生きている限り必要である。日本は四季も豊かで、どんな方々も平等に「太陽。土・水」が与えられている。すべての方々にとつて大切な仕事、みんなで大切にしましよう。



めだかの学校伝言板

第128回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／今村純子

教頭／松本芳廣

用務員／玉木良汰

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっていません。

消毒とマスクはして下さいね。

開校日／令和7年9月6日（土）正午～

受付／大場敬子・大橋町代・榎原幸雄（後見人）

33期通年テーマ：

『人生百年時代』

今回のテーマ：

『…と言うけれど…』

<時間割>

●総合「ひとりひとりが先生になって…」

—大きな輪を作つて順番に3分以内で講話—

●給食は取り寄せです。

PM3:30 閉校

めだかの動き 泳ぎ回るめだかたち

■「折角だから…」と差し出せるもの

新城市の山奥、ホツンと一軒家のノブちゃんは「折角来てくれたから、上の観音様へ連れてつてやる」と言って、ノブちゃんしか知らない観音様を拝ませてくれた。

御前崎エコパークの貴美枝さんは「折角だから、あつちの花壇まで見に行つてみよか」と園内を一回りして、季節の花々を説明してくれた。

浜松市中ノ平の林を手入れしている静男さんも「折角だから、あつちの林まで行ってみるか」と言って、自生している珍しい植物たちを案内してくれた。

「折角だから…」私は幼い頃から馴染みある言葉だ。私は、北遠の山間に生まれ育った。「折角こんな山ん中まで来てくれたんだから、これ、持つていきなさい」と、採つてきたばかりの山菜や野菜を、来客に持たせる大人の姿をよく目にした。「折角だから…」と差し出されたモノには、その人の人柄が滲み出る。「折角だから…」と、差し出されるソレは、その人が大切にしているモノだ。私だったら何を差し出すだろうか?

「歌だ」と言葉が浮かんだ。そうだ。やっぱり私は歌を歌いたい。故郷の景色や、両親の面影を思い浮かべながら歌うのがいい。みんなで一緒に歌える童謡や抒情歌がいいね。

■信州遠山郷めだかの学校特別教

来たる11月9日の日曜日、遠足を兼ねた『信州遠山郷めだかの学校特別教室』を、飯田市南信濃で開校することになりました

■全国まちづくり交流会 それから一開催

かえり」と待つていてくれる三遠南信各地の友達の元へ、「歌」というお土産を携えて向かう。天竜川河口から諒訪湖を目指す私の旅路。今夏は、長野県飯田市「猿庫の泉」で歌う。
(埋田千聰メダカ)



た。詳細はこれから詰めていきますが、集合など予定時間は、9日の日曜日午前7時に学舎に集合、8時に出発、南信濃には11時ごろ到着、その後特別教室を開催し、午後6時半ごろ帰着します。

参加費は3000円(お弁当代、温泉入浴代など)・プラスバス代など交通費。授業は地元の玉置洋一メダカの進行で、地元の人の講話と、めだかの学校事務局からの話となります。地元の人との交流も楽しめます。実行委員長は秋山勝則メダカ、副実行委員長は埋田千聰メダカ。参加希望者は早めに事務局へご連絡を! 9月6日のめだかの学校日を最終締切りとします。

「道の駅遠山郷」は10月4日再始動、「かぐらの湯」も。さあ、みんなで行こう!!。(事務局 バラメダカ)

『人・ひと・ヒト…だより』

●磐田市草地博昭メダカ。海老で食卓を

笑顔にする日本海老協会の名誉海老大使に任命されて就任した、だつ。磐田市は年間200トンの陸上養殖エビの産地で、本日の生産量を誇る産地でもあります。また京料理などに使われるエビイモの日は7月31日で、めだかの学校だよりが届く頃は締切られています。今のところ出席者は村松達雄メダカ、松本芳廣メダカ、「かがり火の会」の菅原歓一メダカ、松林建メダカです。私はバラメダカは夜の交流会が無理で、まためだかの学校が翌日の6日にあるのであきらめました。みなさんに会えないのが残念ですが…。(バラメダカ)

●三島市の野村諒子メダカ。磐田市議の鈴木弥栄子さん、新人の大迫由美子さん、高塚静子さんの3人の市議さんは県内女性議員の仲間「なないろの風」の仲間になっています。裾野市から浜松市まで、24人の仲間がいます。3人ともめだかの学校に入つていただくのはどうでしょうか。私も一緒に頑張りたいと思います。県議の川崎和子さんも仲間です、だつて。6月7日に

めだかの学校で溝口さんにお会いできるのも楽しみです、とも。女性や若い人がめだかの学校に入校、いいですねえ。大賛成です。女性はすぐに校長先生候補ですよ(笑)。

●浜松市村木謙式メダカ。目だかの皆さんいつも元気で活動されありがとうございます。私は村木は3月31日をもつて「はまつフランパーク」を退社致し、毎日が日曜日の生活を考えました! けど無理! 何かする事ないか! って頭がくまつちゃいやそつ! お世話ををする人が居た、近所の食事処の料理長! うちの関連会社でやつてみては? てんで、「紹介を頂き喜んで勇んで行つた! 即採用。土日おいでの土日はいそがしいぞと元気に老後

の生活を「ゆうが」に過ごしているボケメダカでござる。久々に参加したいと思つてはいる。6月7日出席です、だつて。よかつたねえ。村ちゃんは働き者だもんね。これからは出席無理か? あ、ボケメダカでござる。久々に参加したいと思つてはいる。6月7日出席です、だつて。よかつたねえ。村ちゃんは働き者だもんね。これ

●磐田市鈴木祐之メダカ。:何か日曜日

に特別授業を企画しているようで(温泉付き)、楽しみにしております。道の駅はいろいろと車で出かけ楽しんでおり、「かぐらの湯」も3回ぐらい利用させていただいています。いい湯でしたよ!。故障がやつとなおつて再開できてよかつたデス。一泊ツアーデスか? だつて。いや、早速の特別授業、出席表明、嬉しいですね。11月9日(日)日帰りの予定です、ハイ! ●磐田市の大島たまよメダカ。小満の頃、畑の草だけが元気に成長しております。7日の「めだかの学校」楽しみにしておりました。が、売木村の仕事が入つてしまい、残念ですが欠席です。溝口さんのパワーあふれるお話を聞きしたかったのですが…。令和の米騒動、史上最高の物価高の折、仕事優先せざるを得ません、だつて。ホント年

金だけの生活者にはもう大変でございま
すヨ。スーパーに行けば、真っ先に目に入
るのは『何割引』の値札だつたりして(笑)。

●森町の榎原淑友メダカ。本当に暑いのか
寒いのか分かりません。今年のお茶もやつ
と終了しました。皆さんが自然農法の良さ
をやつと理解してくれるようになります
た。ただ無農薬なら良いと云う訳ではあり
ませんね?だつて。淑友節を聞けばうなず
ける。給食の時に飲んでるお茶、実体験そ
のものでぞ!ハイ。

●磐田市の伊藤英雄メダカ。PC操作が難
しくなつてゐる。ゴメンね。運転は薬の副
作用で禁止だつてさ。視力失明します(ま
だ見える見える)。歩行転倒の恐れあり。
ステッキを用意する。原因是加齢だつて。
出来る事柄探しています??。生涯在学

生徒を目指して、だつて。年齢を重ねると
色々故障部分が出てくるね。付き合つてい
くしかないね(笑)。めだかの学校200
回を目指して…。その前に35周年記念交
流会をやろう!!あと3年、頑張ろう!!と。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。マンネリ
化は、視点・感点を変えれば伝統と言えま
すが、時には、目から鱗^の新鮮さで刺激
を図る。例えは毎回順番に1人1人自己紹
介を兼ねて近況と共に”近頃気になつてい
る話”を壇上で話をする。「昔、青年の主
張」弁論大会の様な事を毎回3~4人づつ
行なう。メダカの生徒一人一人の”存在感”
づくりと共に自己実現の機会となると考
えられます、だつて。提言ありがとうござ
います。出席できない人も、便りを通して
伝えていければ思つていてます。手紙
まつてますヨ~!!

●掛川市の鳥山剛メダカ。今年から新しく
始めた活動です。公益財団法人”オイスカ
”が1961年設立された「子供の森」計
画をはじめ30周年になります。パプア

ニューギニアを始め、モンゴル等全世界
41か国で活動して、オイスカの職員たち
が現地で子供たちに指導しています。私が

誘致を担当した35教団が母体となり、浜
松オイスカ高校を運営しています。オイス
カ活動の資金の一部として未使用切手を

利用しているので、たくさんの未使用の切
手を贈りました。使用済切手は、メダカの
学校にも送り、切手で色々な活動に協力す
ることになりました。だつて。アサギマダ
ラの活動が縁で、静岡英和女子学園宣教師
宅の保存活動に参加することになりました
した。とも。

●浜松市の藤波公子メダカ。校長訓話、と
ても楽しく拝読。常々めだかの人材の豊富
さに驚きと共に心躍ります。意外と私も
ロック、ジャズ、クラシックと大好き…。
聴くためには足を鍛えなければ!花井孝
様の文も感じ入りました。椿サマー!と
日々清く明るく元気です。御心淋しいです
が、前向きの心は青春!をいただきました。
誠にありがとうございます、だつて。また
めだかの学校の皆々様から、いつも良きお
言葉をいただきましてありがとうございます。
3月6月も出席したつもりで、継
続入学金と共に7000円送つてくれま
した。いつもお心遣い頂き感謝です。

●東京都のかまちよしろうメダカ。去る
5月19日、永眠いたしました。享年87歳。
葬儀は、家族葬にて5月24日に滞りなく
相済ませました。生前中のご厚誼に深く感
謝申し上げます。同封の手紙は、故人の遺
言により送らせて頂きました。と、喪主の
山根順子さんから送られてきました。
遺言の手紙

この手紙は、頭が未だしつかりしている
うちに書いておいて小生の死後、そちらに
郵送してもららうよう家族にたのんである
ものです。

小生は2013年4月28日、名古屋にてキリスト教会の洗礼を受けました。毎日、
よろこんで生きています。死後、遺骨は横浜の教会墓地に入ります。横浜に来て、本
当に良かったと思つています。

●浜松市の蜂須賀千賀子メダカ。英語を話
せるようになりたいと思つて、今は
スマホが世界中の言語に訳してくれる
でも話せるようになれたらと思つていま
す。あいさつはできても日常会話ができ
らなあと思いつつ、機会が少ないのでね。
加齢と戦いながら枯れないようにがんば
ります、だつて。枯れ木も山の脳わい、と
いました。いろいろ病気はあります、こ

言われるけど、枯れていな方がないよね
(笑)。

【新生紹介】
●磐田市の玉木良汰メダカ。令和7年4月
の市議選で25歳で当選、市議に。会派は
芦川和美メダカと同じ会派だつて。202
年には、磐田市で初めての男性観光大使
に。めだかの学校では、一番若いピチピチ
メダカです。

●磐田市の鈴木正士メダカが、令和7年7
月17日(木)午前7時26分に永眠いたし
ました。享年76歳。謹んでお悔やみ申し
上げるとともに、心からご冥福をお祈りい
たします。なお、通夜は7月21日月曜日、
午後6時から。葬儀・告別式は7月22日
火曜日午前10時から浜松市天竜区二俣町
JA遠中セレモニア天竜で執り行われま
した。通夜には多くの人がお別れにきました。
正士さんの人脈の広さと深さをお伺いす
ることができます。ありがとうございます!正士さ
ん。感謝。

●神奈川県横浜市の山根圭一メダカ。去る
5月19日、永眠いたしました。享年87歳。
葬儀は、家族葬にて5月24日に滞りなく
相済ませました。生前中のご厚誼に深く感
謝申し上げます。同封の手紙は、故人の遺
言により送らせて頂きました。と、喪主の
山根順子さんから送られてきました。
遺言の手紙

この手紙は、頭が未だしつかりしている
うちに書いておいて小生の死後、そちらに
郵送してもららうよう家族にたのんである
ものです。

小生は2013年4月28日、名古屋にてキリスト教会の洗礼を受けました。毎日、
よろこんで生きています。死後、遺骨は横
浜の教会墓地に入ります。横浜に来て、本
当に良かったと思つています。

もっともつと伝えたいのですが、紙面の
都合で今回はこれまで。LINE、FBの
みなさんごめんね。また内容に季節のズレ
があります。お赦し下さいね。バラメダカ
(バラメダカ)

【お知らせ】
めだか春秋は今回お休みします。

■事務局だより

暑いですねえ…。みんないかがお過ごしでしょうか?。体温以上の高温の日もあり、熱中症にならないようにするのに精一杯です。『自愛くださいね。

さて、第127回めだかの学校は、令和7年6月7日の土曜日。校長は若尾和孝、

教頭は水村春江、用務員は山本裕三だが、

用事があつて会費を納めて急遽早退。なんとかお弁当を渡すことができた。と言う訳で代理を村田徳治メダカに頼む。今回も人の集まりが遅く、10分遅れで開校する。

新入生はなんと25歳の玉木良汰メダカ。

もうひとり久しぶりに出席の飯田市南信濃の玉置洋一メダカ。

お楽しみの給食は、いろいろ豊かな磐田市豊岡の和食処「なかや」の幕内弁当。消

費税別の1200円。美味しかったが古川屋さんのお弁当が好きだな?と/orは影の声。給食のあと全員で写真撮影。24名。

カメラマンと早退の人「めんね。1時10分からの校長訓話。若尾和孝校長「豊岡村役場の時、鈴木正士さんのもとで仕事をしていました。5年ほど前、仕事で悩んでいた時、正士さんが2回も家に訪ねてきてくれた『絶対やめてはダメだ!!』と何度もさとしてくれた。今元気にしてるのは正士さんのおかげ」と。ギター片手に新曲を披露。

事務局のお知らせでは、玉置洋一メダカが「故障していた温泉『かぐらの湯』が修理も終わつてリニューアルオーブンする。また新しく道の駅もできるのではないかの学校の特別教室を

やつて欲しい」とのこと。みんなに提案し

たところ、11月9日の日曜日『信州遠山郷、めだかの学校特別教室』を開くことに。

実行委員長は秋山勝則メダカが引き受けてくれることに。

1時30分からの特別

授業溝口久先生の社会思っているままに

使う。「今が使つて語る。今が

あるのは正士さんのおかげ。

県職のとき豊岡村役場へ出向、正士さんのもとで働く

と。県を定年まで3年残して早期退職。小

山町の込山町長から声をかけられ単身赴

任で小山町に。多くの施設の改革に取り組

む。町長が代わつたことで茨城県の境町に

と。結婚記念日にJR九州の豪華列車に

とか、「ういろう」さんから小田原の古民

家をすすめられて、自分で改修して、

そこを拠点に多くのイベントを開催し人脈を広げた、と。彼にとってはホンの一部

のようだが…。

そのあと次期3役発表。『人生百年時代』

と言われる今日此の頃、百年に一番新しい今

と/orは、教頭は県職

時代の後輩の松本芳廣メダカ、共に

居らず、校長代理は鈴木眞弓メダカ、

教頭は田村進治メダカ、用務員は百

年時代に一番遠い25歳の玉木良汰

メダカ。33期最初

の第128回めだかの学校はどんな授業になるのか楽しみです。最後はみんなで「今日の日はさようなら」を歌いつつ握手してお別れを!。

第128回めだかの学校の職員会議を、

7月12日(土)10時から学舎で行いました。校長今村純子、用務員玉木良汰、石野省三、榎原淑友、鈴木真弓、埋田千聰、榎原幸雄、信州遠山郷特別実行委員長秋山勝則の8名が出席。教頭の松本芳廣はそば講座があつたため欠席。今村校長と玉木用務員のあいさつのあと、33期の通年テーマと128回のテーマ、授業について話し合

う。今回は3役については『人生百年時代』に一番近い人と、一番遠い人を指名したの

で、33期の通年テーマは『人生百年時代』に、第128回のテーマは運動して『…と

言われても…』にする。授業については「1人3分ぐらいで前に出て話してもらつたら…」と生徒からの提案も出ていたので、33期の3に合わせて『全員先生になつて

1人3分以内で話す』ことに決める。「前

に出て1人3分ずつ話すのでは時間がかかるので、机を後ろに片付けて、椅子のみで円陣を組んで順番に話したら」と、

お互いの顔もよく見えるし、この方法

に決める。第128回の内容について

は決まつたので『信州遠山郷めだかの学校特別授業』について話し合つ。

名の生徒が申し込みを済ませています。毎年度手続きが必要です。まだ未提出の人は再度申込書を同封します。8月31日までに1000円を添えて提出してください。手続きがなされない生徒は自主退学扱いとなります。ご注意ください。

■今回も遅れました。『めんなさい』いつも生原稿のメール打ちの石野省三メダカ、秋山勝則メダカ、村松達雄メダカ、大島たまよメダカ、埋田千聰メダカ、水島加寿代メダカ、写真撮影の横山忠志メダカ、まとめてくださる間渕亮太メダカ、発送などのお手伝い榎原明美さん、ありがとうございます。感謝!

■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行は、令和7年11月1日予定。

締切10月15日です。みんなの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBで。

メールの方は、mavun_f100@gmail.com 》

間渕亮太 090-5009-0986です。
(アドレスが変わりました。まだ昔のアドレスも可。)

■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田529番地20 榎原幸雄方 TEL 0539-62-6691 (FAX同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150 電話 0538-89-7730 開校日の午前11時以降のみ使用可。
携帯 080-1612-9130

■第33期の受付を始めています。

第33期は、令和7年9月1日から令和8年8月31日までです。6月の開校日より受付を始めています。7月15日現在38

